

藤田観光株式会社

2024年12月期

決算説明資料



2025年2月13日  
(証券コード:9722)

営業利益・経常利益ともに過去最高益、当期純利益も過去最高水準  
 前年比 売上高116.6億円増収、営業利益56.7億円増益

- ・インバウンド需要の獲得、商品力強化により利用単価上昇
- ・コロナ禍に実施した構造改革の効果を維持
- ・人材戦略に沿い、積極的な採用や賃金引上げを実施、安定的な人材確保を図る

単位:百万円

	2024年		2024年 実績	2023年 実績	前年比
	3Q累計実績 1~9月	4Q実績 10~12月			
売上高	54,178	22,033	76,211	64,547	+11,664
営業利益	7,680	4,629	12,309	6,636	+5,672
経常利益	7,862	4,761	12,623	7,081	+5,541
特別利益	139	0	139	675	▲535
特別損失	1,127	307	1,434	1,071	+362
税金等費用	1,461	731	2,193	▲1,429	+3,622
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,412	3,721	9,134	8,114	+1,020

## 全事業において前年比増収

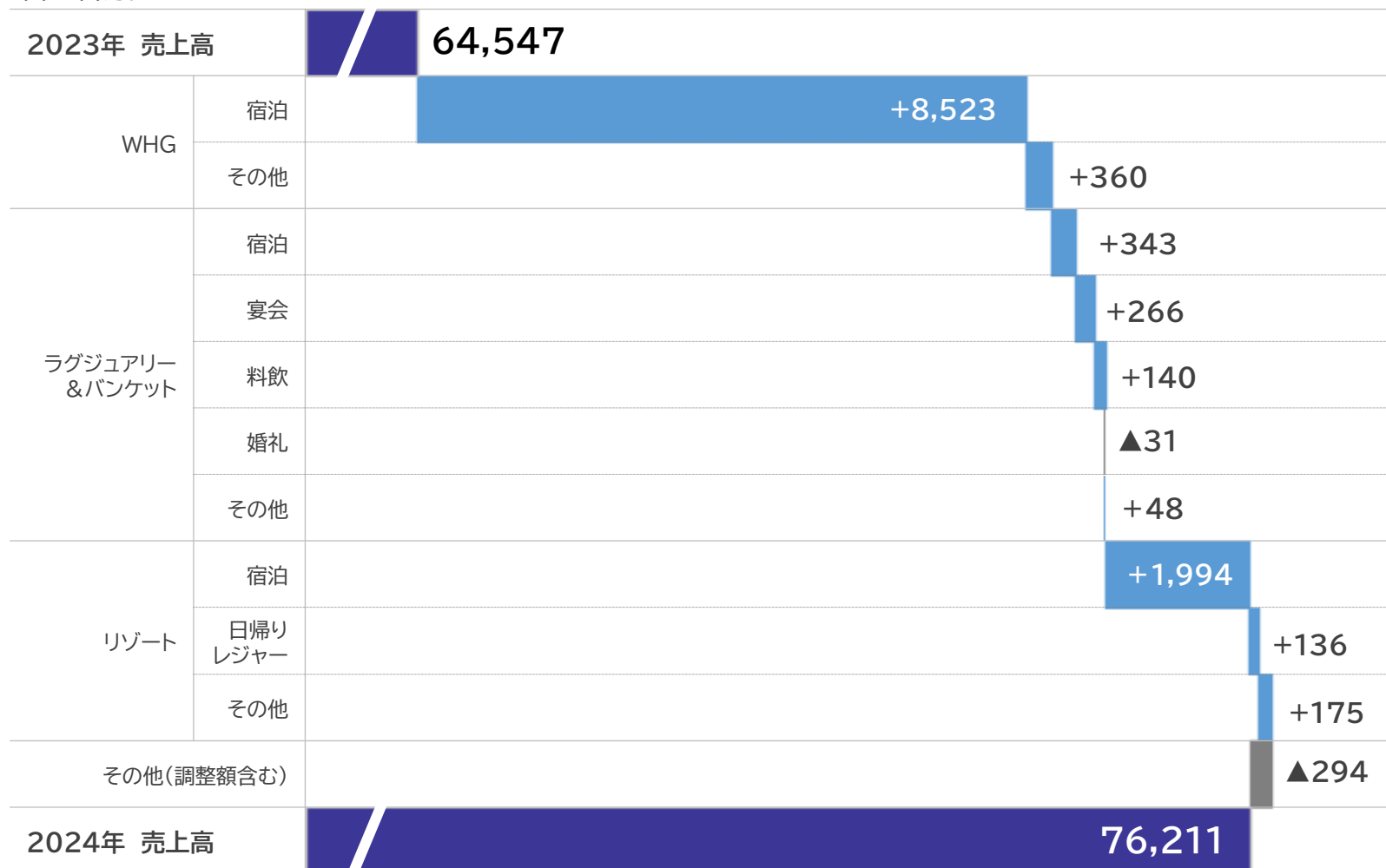
- ・ラグジュアリー&バンケット事業は労務費増加等の影響により営業利益は前年並み
- ・リゾート事業は2023年7月開業の「箱根ホテル小涌園」の通年営業が増収増益に寄与

単位:百万円

			2024年	2023年	前年比
	3Q累計実績 1~9月	4Q実績 10~12月	実績	実績	
<b>売上高</b>	54,178	22,033	<b>76,211</b>	64,547	+11,664
WHG事業	32,602	12,979	<b>45,582</b>	36,698	+8,884
ラグジュアリー&バンケット事業	12,624	6,020	<b>18,645</b>	17,878	+766
リゾート事業	8,052	2,712	<b>10,765</b>	8,458	+2,307
その他(調整額含む)	898	319	<b>1,218</b>	1,512	▲294
<b>営業損益</b>	7,680	4,629	<b>12,309</b>	6,636	+5,672
WHG事業	6,711	3,484	<b>10,195</b>	5,446	+4,749
ラグジュアリー&バンケット事業	213	1,021	<b>1,234</b>	1,253	▲19
リゾート事業	756	163	<b>920</b>	169	+751
その他(調整額含む)	▲0	▲39	<b>▲40</b>	▲232	+191

## ADR(客室平均単価)上昇により、宿泊部門の増収が大きく牽引

単位:百万円



# 営業利益 一要因別増減

## 増収と営業固定費比率の低下により、前年比増益

- ・費用の増加分については、増収による限界利益の増加で吸収
- ・コロナ禍に行った構造改革の効果を維持し、営業固定費比率はコロナ前と比較し低下

単位:百万円

2023年 営業利益		6,636
増収による限界利益増加	WHG	+6,796
	ラグジュアリー & バンケット	+549
	リゾート	+1,648
	労務費増加	▲1,823
	地代家賃増加	▲748
	減価償却費増加	▲280
	その他費用増加	▲469
2024年 営業利益		12,309

### 営業固定費比率(対売上高)

✓ コロナ前と比較し低下

2019年 75.3%



2023年 67.6%



2024年 61.8%

インバウンド需要の取り込み、商品力強化によりADRが前年比21%上昇  
 ⇒事業全体で前年比**88.8**億円増収、**47.4**億円増益

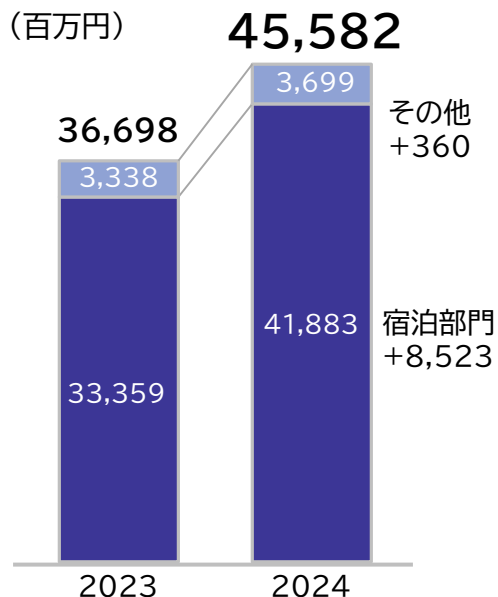
## インバウンド需要の着実な取り込み

・欧米豪のほかアジアも含めた海外セールス、および地方事業所へのインバウンド送客が奏功

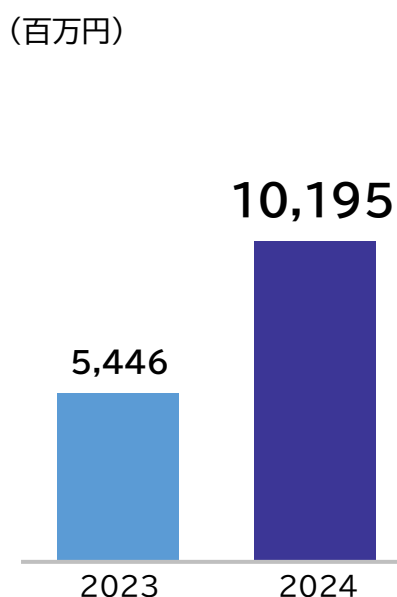
## 商品力強化

・客室やレストラン、ロビー・ラウンジ改装のほか、社内研修により接客サービスを向上

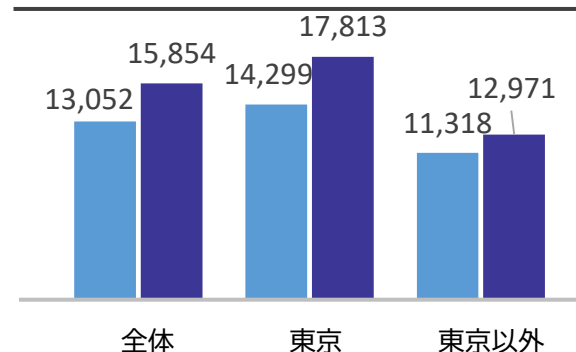
### 売上高



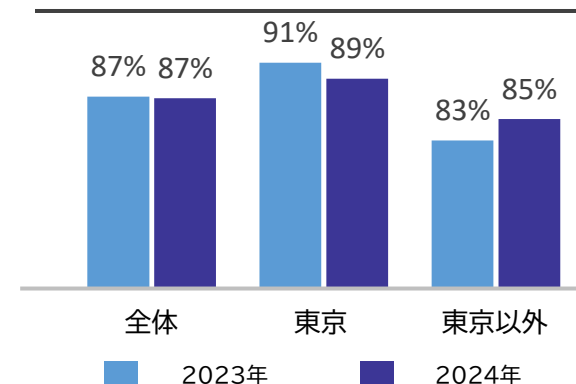
### 営業利益



### ADR(円)



### 稼働率



✓ 宿泊部門+8,523百万円のうちADR上昇効果は+7,330百万円

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績  
 ※ 2023年2月未まで「ホテルグレイスリー新宿」は行政へ提供(一棟貸し)  
 ※ 2024年4月1日より、「新宿ワシントンホテル ANNEX(別館)」(337室)を直営事業所として営業開始

※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

## 2024年実施

### ➤商品力強化による収益力向上

- ・「仙台ワシントンホテル」などにおいて客室改装を実施
- ・「ホテルグレイスリー新宿」「東京ベイ有明ワシントンホテル」「秋葉原ワシントンホテル」ラウンジ・レストランを改装、メニューも一新



東京ベイ有明ワシントンホテル レストラン改装

## 2025年計画

### ➤商品力強化による収益力向上

複数の事業所において、改装・美装を計画

#### 「東京ベイ有明ワシントンホテル」

増加する観光需要に対応するためシングルルームをダブルルームに改装  
その他全客室においてもユニットバスや家具などを更新



東京ベイ有明ワシントンホテル 客室改装イメージ

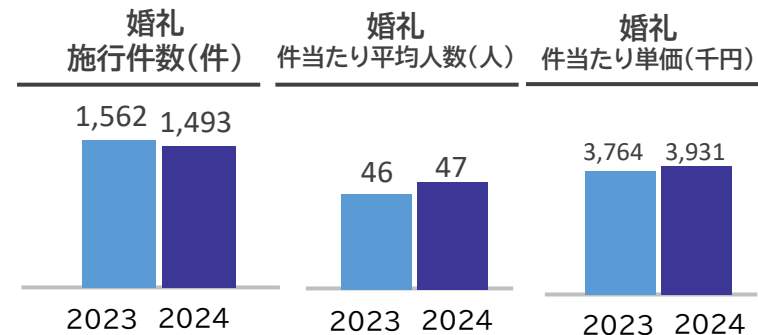
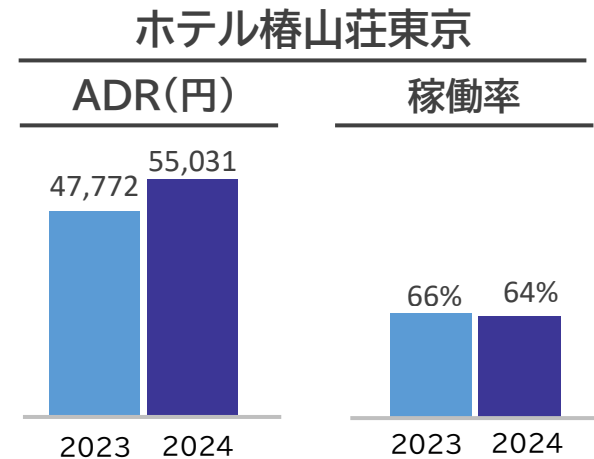
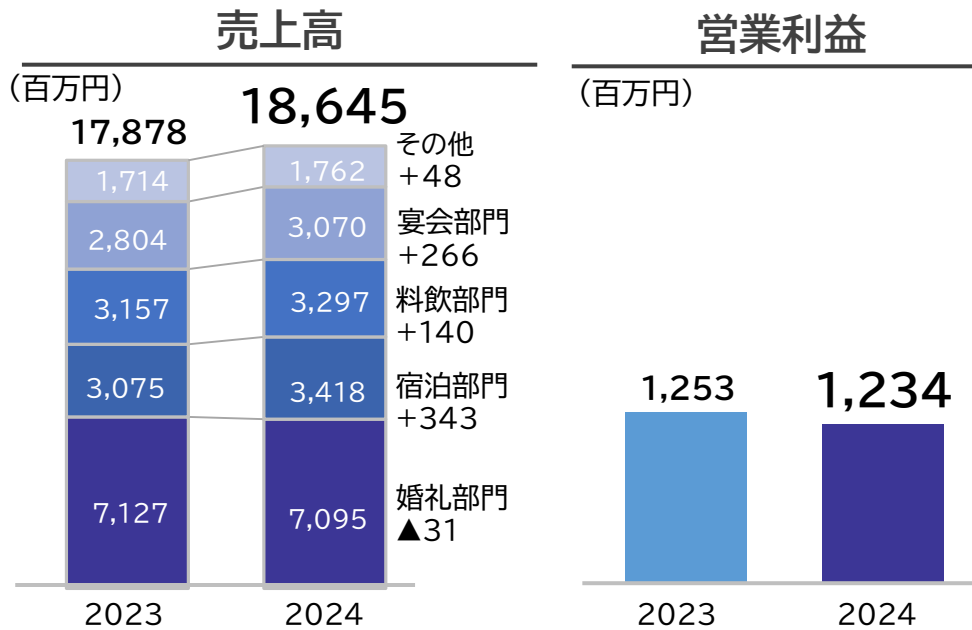
### ➤新規出店による拠点数拡大

FC・MC・賃貸借・資産取得等、様々な出店形態の可能性も視野に新規出店先の探索を継続

宿泊部門が堅調に推移し増収寄与、一方で2Q・3Qの労務費増加影響で前年比減益  
⇒事業全体で前年比**7.6億円増収**、**0.1億円減益**

## 「ホテル椿山荘東京」

- ・宿泊部門を中心に商品の付加価値を高め利用単価の引き上げに注力
- ・婚礼部門は、件数が減少した一方で、件当たり平均人数および単価が増加、売上高はほぼ前年並み



## 「ホテル椿山荘東京」

- ✓ 婚礼部門  
施行件数前年比マイナス、件当たり平均人数、件当たり単価は前年比プラス
- ✓ 料飲部門・宴会部門  
利用人員が前年比で増加、料飲部門+2.7%、宴会部門+3.7%
- ✓ 宿泊部門  
ADR上昇効果は+438百万円  
稼働率は前年比マイナスとなるも、RevPAR(稼働率×ADR)が上昇

※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は  
挙式のための施行件数を含まず算出

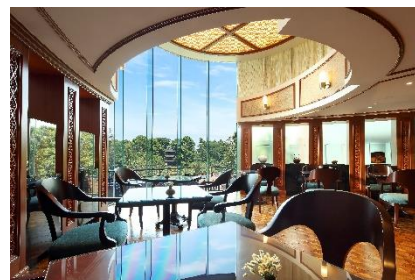


## 2024年実施

### ▶有形固定資産の活用

・「ホテル椿山荘東京」

チャペルをスイートルームご利用のお客様専用のエグゼクティブラウンジへ改装



エグゼクティブラウンジ「ル・シエル」

### ▶ブランド、ノウハウ・スキルの活用

・(株)Share Clappingにおいて、

外部提携会場での婚礼プロデュース開始



Ryokan 尾道西山  
(広島県尾道)

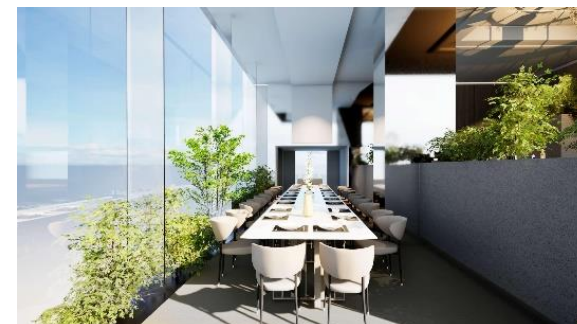
## 2025年計画

### ▶有形固定資産の活用

・「ホテル椿山荘東京」

・婚礼受注件数の増加を目的に会場美装および併設控室を整備

・未使用の婚礼サロンをカフェラウンジに転換し増収を図る

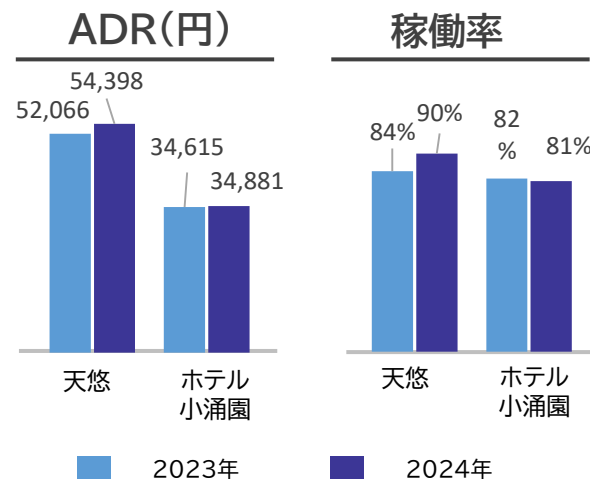
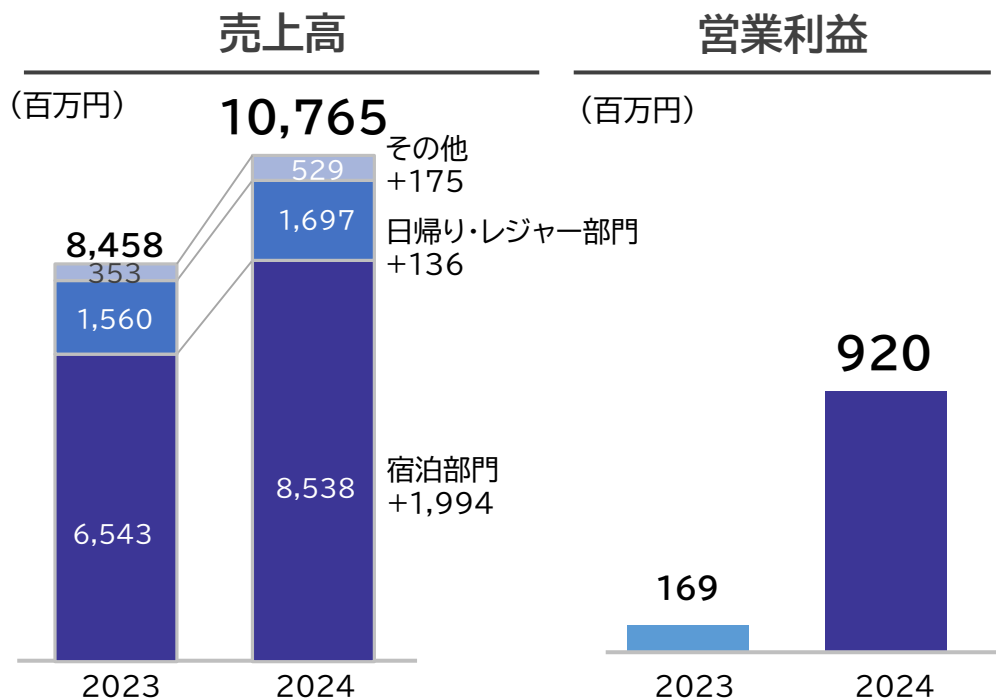


ホテル椿山荘東京「有明」美装後イメージ

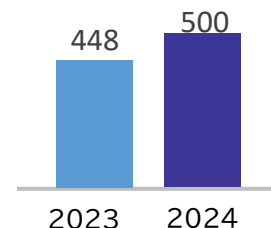
「箱根小涌園 天悠」のADR上昇、「箱根ホテル小涌園」の通年営業により前年比増収増益  
 ⇒事業全体で前年比**23.0**億円増収、**7.5**億円増益

「箱根小涌園 天悠」高付加価値商品の販売に注力、高稼働を維持しながらADRも上昇  
 「箱根ホテル小涌園」主要ターゲットであるファミリー層に加え、ランチ営業により宿泊以外の利用も積極的に獲得  
 「箱根小涌園ユネッサン」箱根ホテル小涌園からの回遊、リニューアル効果により入場人員増加

※箱根ホテル小涌園:2023年7月開業



ユネッサン入場人員(千人)



✓ 2023年は「箱根ホテル小涌園」開業コストあり

✓ 宿泊部門+1,994百万円のうち、箱根小涌園エリアで+1,184百万円  
 「箱根ホテル小涌園」の開業や「箱根小涌園 天悠」のADR上昇効果など

## 2024年実施

- 箱根小涌園での再開発効果最大化  
箱根小涌園の観光地化戦略の一環として、自然が満喫できるアクティビティの開発やインフォメーションカウンターの設置を実施

## 2025年計画

- 箱根小涌園での再開発効果最大化  
「箱根ホテル小涌園」
  - ・2027年開業を目指し、顧客ニーズの高い温泉半露天風呂付客室の増室計画に着手
  - ・増室に伴いレストランも拡張



客室イメージ  
(温泉半露天風呂付客室)



箱根ホテル小涌園 増室後イメージ

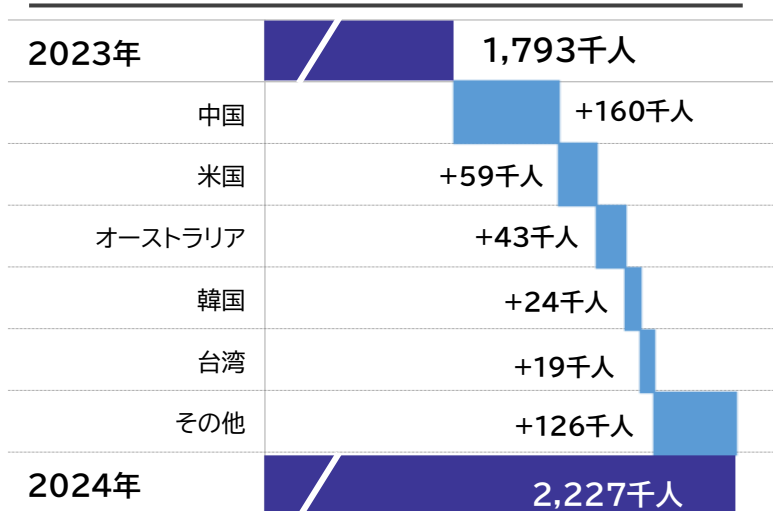


レストラン拡張イメージ

# インバウンドの状況

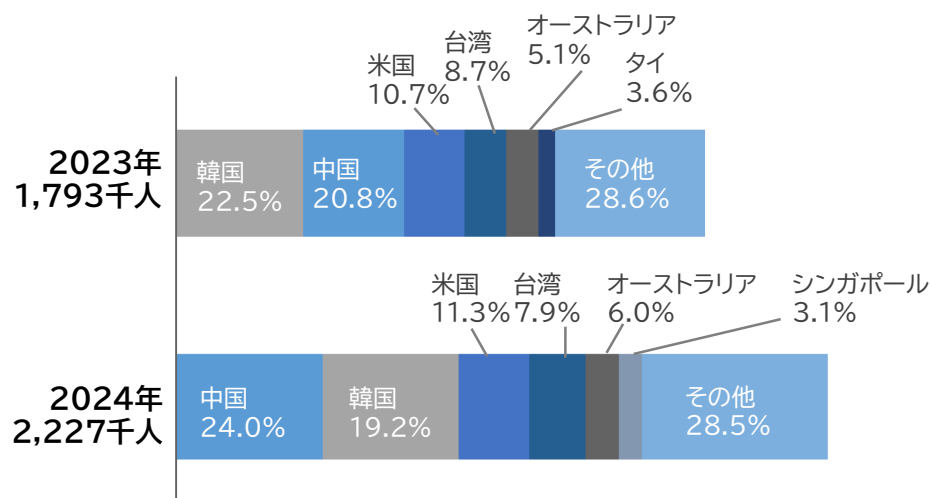
	2024年 実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	2,227千人	+24.2%
総宿泊者数(国内事業所のみ)	4,270千人	+9.2%
インバウンド比率	52.1%	+6.3%pt
WHG全体	54.0%	+6.5%pt
ホテルグレイスリー新宿	94.1%	+3.7%pt
新宿ワシントンホテル(本館・ANNEX)	68.2%	+3.3%pt
ホテル椿山荘東京	35.2%	+2.6%pt
箱根小涌園 天悠	54.2%	+10.6%pt
箱根ホテル小涌園	17.6%	+12.3%pt

## インバウンド宿泊者数 国別増減



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

## インバウンド宿泊者数 国別シェア



※2023年は1,793千人を、2024年は2,227千人を100%とした場合

# 貸借対照表

- ・A種優先株式未取得分100株のうち80株を償還(取得及び消却)  
(8月23日に40株(40億円)、12月20日に40株(40億円)を償還、計80億円)
- ・純資産は前期末比 **3.2億円減少の256.5億円**

単位:百万円		2024年 12月末	2023年 12月末	増減
流動資産		23,703	21,293	+2,410
固定資産		70,338	72,202	▲1,864
資産合計		94,041	93,496	+545
流動負債		31,217	30,365	+852
固定負債		37,172	37,156	+15
負債合計		68,389	67,521	+868
純資産合計		25,651	25,974	▲322
負債純資産合計		94,041	93,496	+545
自己資本比率		27.3%	27.8%	▲0.5%pt
借入金合計		37,429	40,021	▲2,591

# キャッシュ・フロー計算書

- ・営業利益の計上により、営業キャッシュ・フローは159.0億円のキャッシュイン
- ・ラウンジや客室の改装等で投資キャッシュ・フローは38.3億円のキャッシュアウト
- ・A種優先株式の取得、借入金の返済等により、財務キャッシュ・フローは113.1億円のキャッシュアウト

単位:百万円	2024年	2023年	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	15,905	11,109	+4,796
投資活動による キャッシュ・フロー	▲3,831	▲5,919	+2,087
フリーキャッシュ・フロー	12,074	5,189	+6,884
財務活動による キャッシュ・フロー	▲11,311	▲15,667	+4,355
現金および現金同等物の 期末残高	14,446	13,675	+770

# 2025年12月期 業績予想

- ・引き続き、インバウンドを中心とした市場環境の好調は継続すると想定
- ・中期経営計画にて予定していた投資計画を順次実施

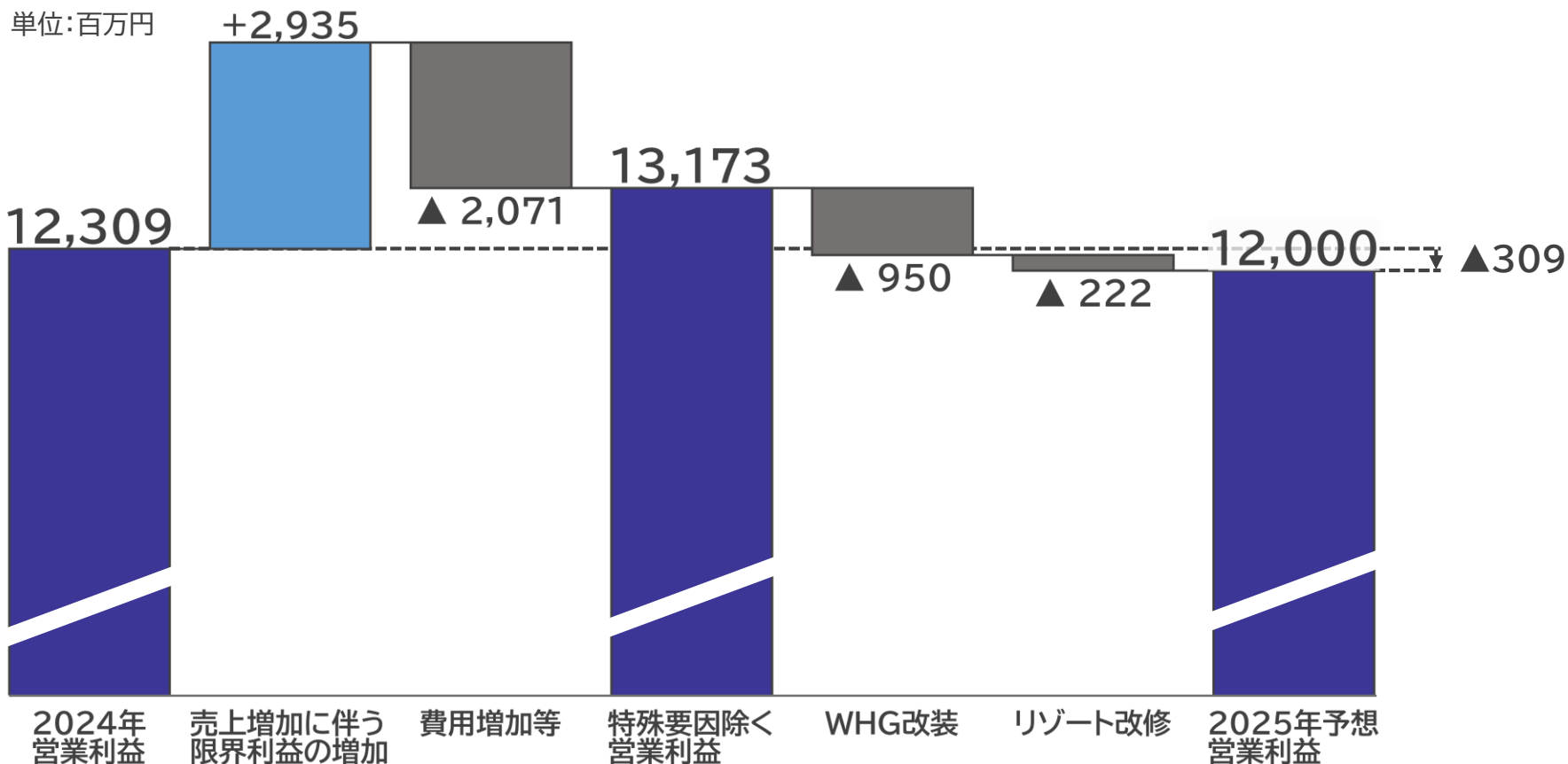
単位:百万円

	上期(1~6月)			通期		
	予想	2024年 実績	前年比	予想	2024年 実績	前年比
売上高	38,100	35,882	+2,217	78,600	76,211	+2,388
WHG事業	23,300	21,416	+1,883	47,200	45,582	+1,617
ラグジュアリー-&バンケット事業	9,200	8,970	+229	19,000	18,645	+354
リゾート事業	5,000	4,889	+110	11,100	10,765	+334
その他(調整額含む)	600	605	▲5	1,300	1,218	+81
営業利益	5,500	5,123	+376	12,000	12,309	▲309
WHG事業	4,800	4,331	+468	9,800	10,195	▲395
ラグジュアリー-&バンケット事業	650	577	+72	1,300	1,234	+65
リゾート事業	100	182	▲82	1,050	920	+129
その他(調整額含む)	▲50	31	▲81	▲150	▲40	▲109
経常利益	5,500	5,615	▲115	11,700	12,623	▲923
当期利益	3,700	4,004	▲304	8,000	9,134	▲1,134

# 2025年12月期 業績予想

- ・既存事業におけるコスト増加を増収により吸収
- ・中期経営計画に沿って実施するWHG事業での客室改装や、リゾート事業での箱根ホテル小涌園増室および三河屋旅館本館改修などの影響により、2024年比 3.0億円減益

## 主な営業利益増減要因





# 2025年12月期 業績予想の前提(営業指標)

		上期(1~6月)			通期		
		予想	2024年 上期実績	前年比	予想	2024年 実績	前年比
WHG全体	稼働率	86%	86%	±0%pt	86%	87%	▲1%pt
	ADR	16,537円	15,320円	+1,217円	16,844円	15,854円	+990円
WHG東京	稼働率	87%	89%	▲2%pt	86%	89%	▲3%pt
	ADR	18,838円	17,367円	+1,471円	19,003円	17,813円	+1,190円
WHG東京以外	稼働率	84%	82%	+2%pt	85%	85%	▲0%pt
	ADR	13,108円	12,290円	+818円	13,666円	12,971円	+695円
ホテル椿山荘東京	稼働率	64%	62%	+2%pt	66%	64%	+2%pt
	ADR	55,586円	55,042円	+544円	55,512円	55,031円	+481円
箱根小涌園 天悠	稼働率	87%	88%	▲1%pt	88%	90%	▲2%pt
	ADR	53,840円	53,615円	+225円	56,033円	54,398円	+1,635円
箱根ホテル小涌園	稼働率	81%	77%	+4%pt	83%	81%	+2%pt
	ADR	33,350円	31,516円	+1,834円	36,054円	34,881円	+1,173円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	680件	667件	+13件	1,530件	1,493件	+37件
	婚礼件当たり 単価	3,926千円	3,942千円	▲16千円	3,887千円	3,931千円	▲44千円
	婚礼件当たり 平均員数	48人	48人	▲0人	47人	47人	▲0人
箱根小涌園1ネッサ	入場人員	210千人	205千人	+5千人	540千人	500千人	+40千人

※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

# 中期経営計画2028

## 数値計画推移

- ・計画策定時(2023年)はコロナ禍明けでのリベンジ需要が、ある程度剥落すると想定していたが、2024年はインバウンドを中心に想定以上に需要が伸長

		2023年実績	2024年実績	2028年目標
収益性	売上高	645 億円	762 億円	800 億円
	営業利益	66 億円	123 億円	80 億円
	営業利益率	10.3 %	16.2 %	10 %
	ROE (当期利益 / 自己資本)	31.2 %	35.6 %	10 % 以上維持
投資	設備投資額	52 億円	29 億円	5年累計 350 億円
財務	営業CF	111 億円	159 億円	5年累計 450 億円
	自己資本比率 (自己資本 / 総資産)	27.8 % 優先株式を除く 17.1 %	27.3 % 優先株式を除く 25.2 %	25 % 以上維持

## 人材戦略

2024年

- ・採用を拡大し十分な人員数を確保、教育研修をコロナ禍前水準まで再開
- ・賃上げや育児短時間勤務制度の拡充等により働きやすい環境整備を推進

2025年

- ・社内外での研修の充実を進めるとともに、会社設立70周年を契機としたエンゲージメント向上施策などを推進

	基準値(2023年実績)	2024年実績	2028年目標
エンゲージメントスコア *1	3.42 pt	(隔年実施)	3.75 pt
時間外労働時間 *2	12.4 h	10.5 h	10.0 h
年次有給休暇取得率 *3	65.6 %	70.6 %	70 %
入社3年目社員離職率 *4	39.7 %	41.1 %	30 %
外国人社員比率 *5	8.1 %	10.3 %	10.0 %
1人当たり教育研修投資額 *6	2019年実績 57 千円	54 千円	70 千円

\*1 外部調査機関に委託し、一部法人を除く全社従業員へモチベーション調査を実施

\*2 1～12月の月平均実績

\*3 取得日数÷付与日数 基準値：2022年10月～2023年9月実績 2024年実績：2023年10月～2024年9月実績

\*4 過去4年平均 基準値：2017年4月～2020年4月入社 2024年実績：2018年4月～2021年4月入社

\*5 基準値：2023年12月末時点 2024年実績：2024年12月末時点

\*6 基準値：2019年実績 57千円(93百万円/1,629人) 2024年実績：2024年実績 54千円(82百万円/1,530人)

## サステナビリティ戦略

### サステナビリティに配慮した商品の拡充と展開

- ・「MOTTAINAIキャンペーン」に参画、ホテル業界初となるオフィシャルライセンスを取得。レストラン等におけるフードロス削減への取り組みのほか、宿泊代の一部が植林活動に寄付されるプランを販売(2024年10~12月販売実績 598件)



## 成長戦略

会員プログラム THE FUJITA MEMBERSの累計会員数は**60万人**を突破

### 新規事業

- ・社内推進 … 社内選抜チームによる新規事業化の推進に加え、社内公募制度「BizNex (ビズネク)」を開始し、社員のアイデアを活用した事業創出を促進
- ・産産連携 … 外部企業との共創を通じた新規事業創出を目的に、「アクセラレータープログラム」や「ビジネスマッチング」を実施
- ・産学連携 … 大学や大学院生から事業化アイデアを公募する「ビジネスアイデアコンテスト」を試行し、2025年より本格的に開催



## 財務戦略

### A種優先株式の償還

業績の推移、自己資本の状況を踏まえ、健全な財務基盤構築のため、A種優先株式未取得分100株のうち80株を償還(取得及び消却)

2024年 8月23日 40株  
2024年12月20日 40株



未取得株式数は20株  
(2024年12月末現在)

### 資本コストを意識した経営

ROIC、ROEについては、それぞれ資本コスト(WACC)、株主資本コストを上回ることを目指す

ROIC  
**12.8%**

>

資本コスト(WACC)  
約**6%**

ROE  
**35.6%**

>

株主資本コスト  
約**9%**

2024年12月末現在

## ➤ 2025年11月、藤田観光(株)は設立70周年を迎えます

社内公募により周年企画推進プロジェクトを立ち上げ、ボトムアップで企画を立案・推進しています。お客さまに向けた企画のほか、従業員向け企画としては事業部を跨いで従業員同士が交流できるイベントなど、従業員エンゲージメントに資する企画を実施する予定です。



70周年特設ページを開設

<https://www.fujita-kanko.co.jp/70th/>



お客さま向け企画

「あなたの夢叶えます～7つの夢旅～」

## ➤ 2024年10月、執行役員 藤田観光(株)総料理長 十代雅之が「フランス料理農事功労章シュヴァリエ」を受賞

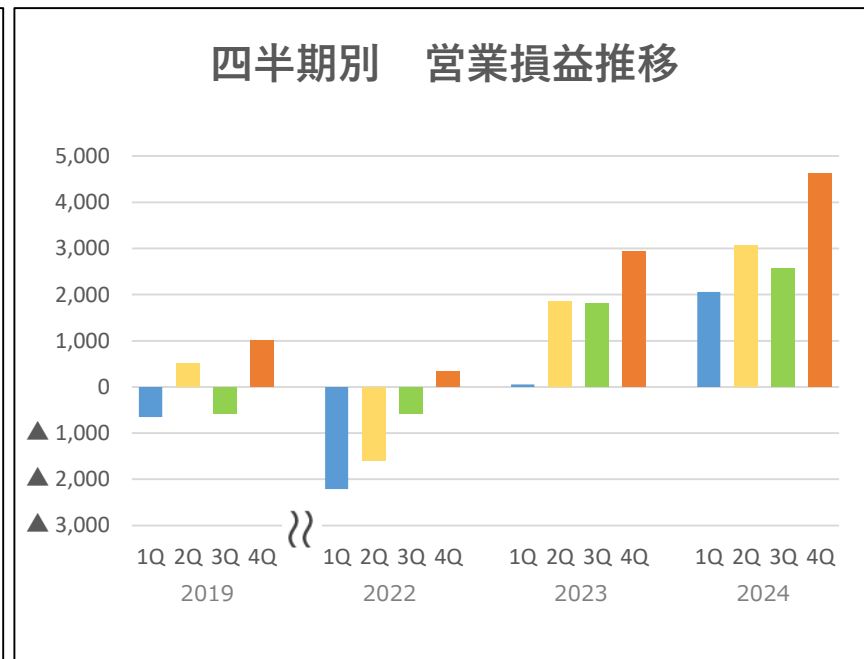
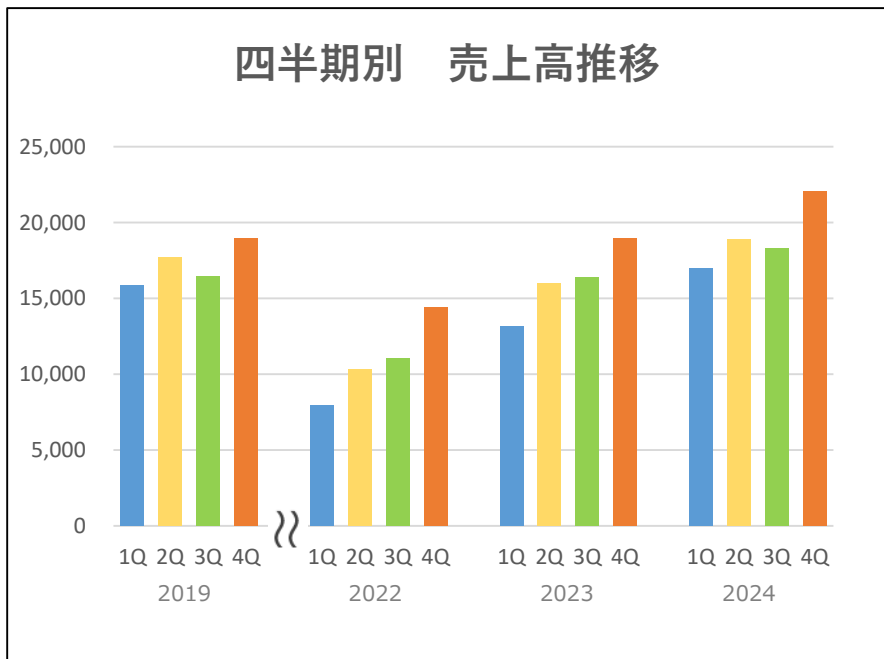
フランス料理農事功労章は、1883年に創設されたフランス共和国の勲章で、農業や食文化の普及、輸出促進に貢献した人物に授与されます。フランス料理やフランスの食材を活かした活動や後進育成、食文化の魅力を広める取り組みが評価され、今回の受章に至りました。



# 営業指標推移

		2023年				2024年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
WHG 全体	稼働率	84%	88%	88%	90%	86%	86%	87%	90%
	ADR	10,821 円	13,083 円	13,487 円	14,473 円	14,849 円	15,774 円	15,375 円	17,303 円
WHG 東京	稼働率	89%	91%	90%	92%	90%	88%	88%	91%
	ADR	11,567 円	14,428 円	14,612 円	16,096 円	16,920 円	17,791 円	16,884 円	19,544 円
WHG 東京以外	稼働率	78%	83%	85%	87%	82%	83%	86%	89%
	ADR	9,853 円	11,123 円	11,909 円	12,213 円	11,847 円	12,728 円	13,158 円	14,038 円
ホテル 椿山荘東京	稼働率	65%	72%	58%	70%	53%	70%	59%	72%
	ADR	42,660 円	45,527 円	50,335 円	52,535 円	55,437 円	54,705 円	53,747 円	56,064 円
箱根小涌園 天悠	稼働率	83%	79%	85%	91%	89%	87%	85%	97%
	ADR	48,575 円	50,630 円	53,090 円	55,456 円	54,102 円	53,113 円	55,218 円	55,085 円
箱根ホテル 小涌園	稼働率	2023年7月12日開業		88%	77%	73%	81%	92%	79%
	ADR	2023年7月12日開業		36,221 円	32,918 円	32,791 円	30,371 円	39,721 円	35,772 円
ホテル 椿山荘東京	婚礼施行件数	271件	436件	289件	566件	282件	385件	263件	563件
	婚礼件当たり単価	3,675 千円	3,948 千円	3,679 千円	3,706 千円	4,044 千円	3,868 千円	3,894 千円	3,934 千円
	婚礼件当たり平均員数	44人	49人	45人	45人	49人	48人	46人	46人
箱根小涌園 ユネッサン	入場人員	75千人	70千人	208千人	94千人	107千人	97千人	204千人	90千人

単位:百万円





# 施設一覧(2025年2月13日現在)

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
<b>《宿泊》 35拠点 11,041室</b>				<b>《宿泊》11拠点 553室</b>		<b>《宿泊》 1拠点 265室</b>	
<b>■ワシントンホテル</b> (20拠点 6,619室)		<b>■ホテルグレイスリー</b> (10拠点 3,198室)		箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京 265室	
仙台	223室	札幌	440室	箱根ホテル小涌園	150室	<b>《婚礼》 2拠点</b>	
新宿(本館、ANNEX)	1,617室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	ルメルシェ元宇品(広島県)	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ザ サウスハーバーリゾート(広島県)	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	<b>《レジャー》 1拠点</b>	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	カメラリアヒルズカントリークラブ(千葉県)	
浦和 (2025年8月31日 営業終了予定)	140室	京都三条(北館・南館)	225室	藤乃煌 富士御殿場	24室	<b>《レストラン》 2拠点</b>	
広島	266室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
キャナルシティ・福岡	423室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形七日町【FC】	213室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室		
山形駅西口【FC】	100室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室		
会津若松【FC】	154室			<b>《レストラン》 3拠点</b>			
郡山【FC】	184室	<b>■ホテルフジタ(1拠点 354室)</b>		レストランあかしあ亭(秋田県)			
いわき【FC】	148室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館		FC:フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用権の貸与と運営を指導  MC:マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託	
立川【FC】	170室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
木更津【FC】	146室	<b>■ホテルタビノス(3拠点 656室)</b>		<b>《レジャー》 5拠点</b>			
燕三条【FC】	103室	浜松町	188室	箱根小涌園 ユネッサン			
関西エアポート【FC】	504室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
関西泉大津【FC】	151室	京都	190室	箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音			
宝塚【FC】	135室			Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
佐世保【FC】	190室	<b>■サービス・アパートメント(1拠点214室)</b>		下田海中水族館			
		ISORAS CIKARANG	214室				
		イソラス チカラン(インドネシア)					

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日(普通株式)	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,444株
	A種優先株式 20株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2024年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。